

えかお  
愛顔の

とくべつしえんがっこうぎのうけんてい  
**えひめ特別支援学校技能検定**

**テキスト**

せい そう

**清 幕**

みづふ

**-水拭きモップ-**



愛媛県イメージアップキャラクター

みきやん

えひめけんきょういくいんかい  
**愛媛県教育委員会**

平成 28 年度 (3訂版)

# 【水拭きモップ】手順表

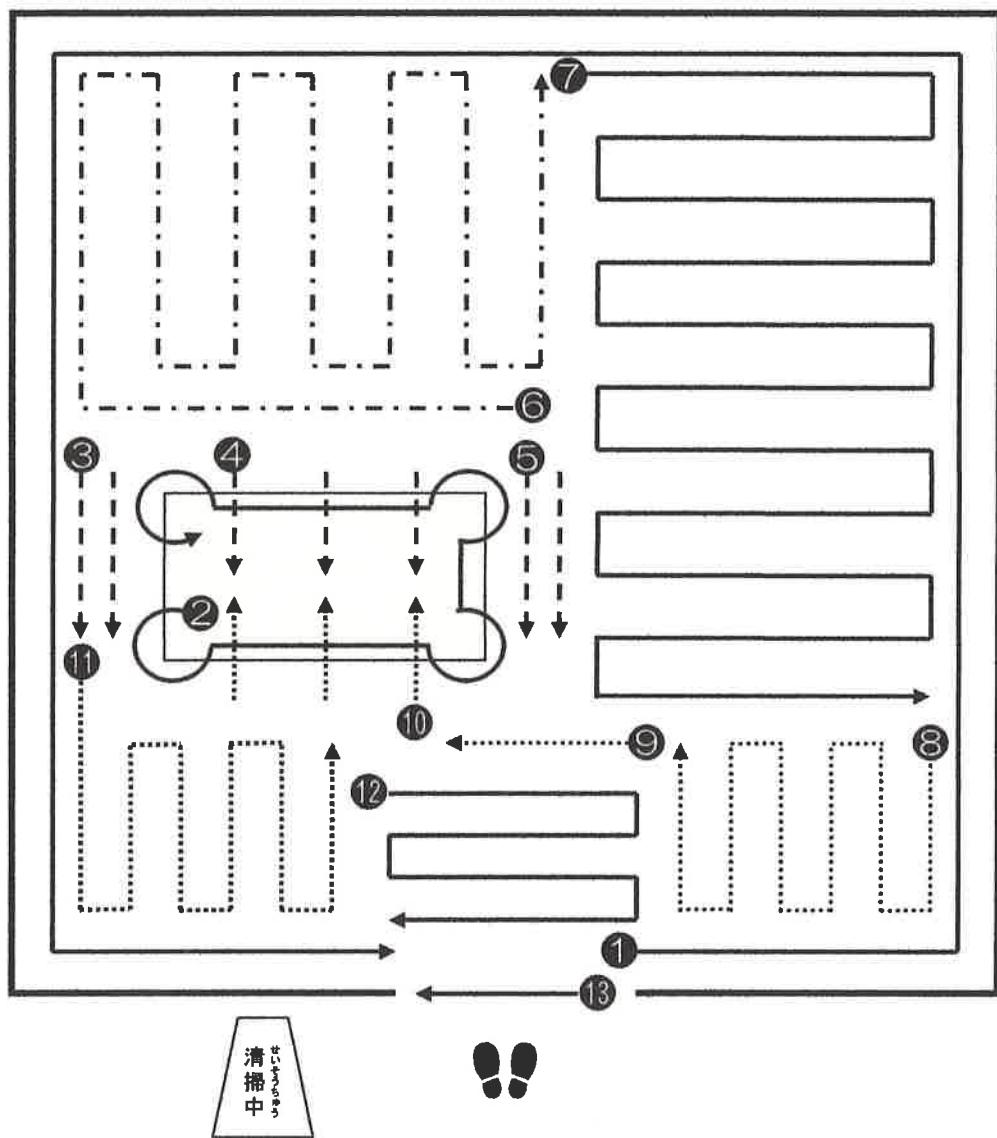
制限時間6分

作業工程	作業内容	写真・イラスト等
1 身だしなみ	<p>① 清掃にふさわしい服装をする。</p> <p>② 清潔に気を付ける。</p>	
2 道具準備 モップの準備	<p>① 審査員「〇番△△さん」返事をして、スタート位置に立つ。 審査員「準備を始めてください。」準備を始める。</p> <p>② 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。</p> <p>③ □作業表示板 □房糸1枚 □モップ柄 □バケツ</p> <p>④ 房糸をぬらす。</p> <p>⑤ 房糸を絞る。</p> <p>⑥ ※房糸を半分にし、片手で横木を持ち、反対の手でねじって絞る。</p> <p>⑦ (必要があれば) 柄の長さを調節する。</p> <p>⑧ 房糸を柄に取り付ける。</p> <p>⑨ 「準備ができました。」と報告する。</p>	  
3 作業開始 入室挨拶	<p>① 審査員「では、作業を始めてください。」 右手を挙げ「(名前)です。始めます。」と言う。</p> <p>② 作業表示板を立てる。</p> <p>③ モップを手に取り、入口で「失礼します。」と一礼して室内に入る。</p>	
4 水拭き作業	<p>① 幅木内周を反時計回り(左利きの人は時計回り)に拭く。</p> <p>部屋の隅は、房糸を指で押させて、壁に房糸が触れないように拭く。</p> <p>② 図の手順に従って順番に拭いていく。</p> <p>③ 机の脚回り</p> <p>④ 3~5机の下・机の周囲</p> <p>⑤ 6~12部屋の中央</p> <p>⑥ 13出入口</p>	   

	点検	① 出口で、指さしと同時に「拭き残しなし。」と言葉に出し、拭き残しがないことを確認する。	
6 たいしつ 退室 あいさつ 挨拶 かたづ 片付け	①	出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と一礼し退室する。	
	②	房糸と柄を資機材置場ではずし、戻す。	
	③	作業表示板を資機材置場に戻す。	
7 さぎょうしうりょう 作業終了	①	スタート位置に立ち、右手を挙げ「終わりました。」と報告する。	
	②	審査員に「ありがとうございました。」と挨拶する。	

### 《作業図：水拭きモップ作業の手順》

※番号は進む方向の順番を表します。モップを動かす回数は適宜変えてかまいません。



みず ふ  
**【水拭きモップ】解説**

<p>1</p> <p>* 【清掃の基本】解説 ①身だしなみを参照</p>		
<p>2 道具準備</p> <p>* 【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照</p>	 <p>房糸の絞り方</p>  <p>① 房糸を半分に分けます。</p> <p>② 左手は動かさず、右手をねじります。</p> <p>③ 右手はギュッと握ったまま、左手を持ち上げます。</p>	 <p>④ しっかり絞ったら、左右を逆に持ち替えます。</p> <p>⑤ ①～③を繰り返します。水滴が落ちなくなるくらいまで絞ります。</p> <p>⑥ 房糸をまっすぐに整えます。</p>

2 道具準備 どうぐじゅんび	<p><b>房糸の取り付け</b></p>  	<p>必要に応じて柄の長さを調節します。まっすぐ立って柄を伸ばし、自から鼻くらいの高さに合わせましょう。</p> <p>安全に作業をするために、柄を肩にかつぐか、床に置いて、房糸をしっかりセットします。 この時、柄が当たらないよう、周りに注意してセットしましょう。</p>
3 作業開始 さぎょうかいし	<p>* 【清掃の基本】解説 ③作業開始、④入退室挨拶を参照</p>	
4 水拭き作業 みずぬきさぎょう	<p><b>モップの持ち方</b></p> 	<p>利き手が上に、親指で柄の先端を押さえ、反対の手は順手で柄を握ります。</p> <p>壁際を拭く時は体の横に、中央部分を拭く時は体の前にモップの柄がくるように持ちます。</p> <p>水拭きした後は、靴の汚れが付かないように、拭いたところを踏まないようにします。</p>
	<p><b>幅木内周の拭き方</b></p> 	<p>幅木に房糸が触れないようにします。幅木を傷つけたり、汚したりしないためです。</p> <p>2~3cm程度離す。</p> <p>隅は房糸に手を添えて拭きます。幅木に房糸をつけないためです。</p>

4

水拭き作業  
みずぬきさぎょう

机の脚回り・下・周囲  
つくえあしまわしたしゅうい



※手の小さな人は  
房糸を分けると  
拭きやすい。



机の脚に房糸が触れない  
ように拭きます。



姿勢を  
ひく低く

部屋の中央  
へやちゅうおう



モップを左右に動か  
し、後ろに下がりながら  
拭きます。

拭いた部分が少し重な  
るように(3分の1程度)  
すると、拭き残しなく拭  
くことができます。



※横一直線になるように拭く。

出入口  
でいりぐち



最後に出入口部分  
を、房糸を手で持って  
拭きます。

※拭き残しができるので、  
モップは丸く動かさない。



5  
点検  
てんけん

■拭いたところを踏まないようにするため、点検は出口で行います。

6  
退室・  
片付け  
たいしつ  
かたづけ



モップは壁などに立てかけず、床に寝かせて  
置くようにします。立てて置いておくと、  
ぶつかったとき倒れて危険ですし、壁を傷つけて  
しまうこともあります。

ア  
終了  
あとう

■仕事は、時間内に終えることが大切です。効率よく確実に清掃を終える努力を  
しましょう。

みず ぶ  
**【水拭きモップ】評価表**

ひょうかひょう

評価表

せいげんじかん ふん  
 制限時間6分<<

がつ 月 にち 日>>

		こ う 項 目	ひょうか 評価	ひ こ う 備考
1	①	□身だしなみを整えている。 ※身だしなみ評価表を参照		
2 道 具 準 備	①	□道具を確認し、足りないものがあれば報告する。		
	②	□房糸を半分に分け、正しい絞り方をする。		
	③	□房糸から水滴が落ちないよう、しっかり絞る。		
	④	□絞り終わったら房糸をまっすぐに整える。		
	⑤	□柄の長さを目～鼻辺りの高さに調節する。		
3 作 業 開 始	①	□適切な声の大きさや態度で作業開始を伝える。		
	②	□作業表示板を適切な位置に置く。		
4 水 拭 き 作 業	持ち 方 かた	□柄の先端を親指で押さえる。		
		□もう一方の手は順手で持つ。		
	拭 き 方 かた	□幅木や机の脚に房糸をつけないように拭く。		
		□机に柄をぶつけないように拭く。		
		□隅、机の脚周り、出入口では、房糸を手で持って拭く。		
		□拭いたあとを踏まないように作業を進める。		
		□決められた順番で作業を進める。		
		□拭き残し、拭きむらがないように拭く。		
		□モップを時々裏返し、両面を使用する。		
		□無理のない姿勢や正しい構えで作業を進める。		
5 点 検 査		□出入口で拭き残しがないか点検する。		
6 片 付 け		□使用した道具を全て資機材置き場に戻す。		
7 作 業 全 体	①	□適切な声の大きさ及び態度で挨拶や報告をする。		
	②	□きびきびした行動で、スムーズに作業を進める。		
かかる時間		分	秒	○の数

コメント

きゅう  
級

○の数	1,2	3,4	5,6	7,8	9,10	11	12	13	14	15
きゅう 級	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

・できていない評価項目に□を入れます。評価欄の枠内の全ての課題がクリアできれば○がつきます。

# 《場の設定》 水拭きモップ

- テープ又は幅木により区画されたおよそ 4m × 4m の範囲を試技コートとします。
- テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 試技コートにある机は移動させないこととします。

配置図（会場の都合で変更することがあります。）

